

教科（地理歴史） 科目（ 地理 B ） 学年（ 2 ） 単位数（ 3 ）

類型（ 文 ）

履修規定（ 選択 ）

学習の目標			使用する主な教材				
現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			・教科書 帝国書院『新詳地理B』 ・地図帳 帝国書院『新詳高等地図』 ・資料集 東京法令出版『新詳地理資料 COMPLETE』 ・Geography Work -2021-				
			評価の観点 ① 関心・意欲・態度 ③ 資料活用の技能 ② 思考・判断・表現 ④ 知識・理解				
期	月	学 習 内 容	学 習 の 具 体 的 内 容 と ね ら い	主な評価の観点			
				①	②	③	④
一 学 期	4	第Ⅰ部 様々な地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 1節 現代世界の地図	現代世界の地図について、様々な時代や種類の地図の読図などの活動を通して、各時代の人々の世界観を捉え、現代の地図や身近な地図の有用性に気付く。 地図の種類とその利用について、球体としての地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や、時差の求め方を通して、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身に付ける。 地理情報の地図化について、地理情報の統計地図化などの活動を通して、地図の有用性に気付く、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身に付ける。 地図の活用と地域調査について、直接的に調査できる地域を地形図などの地図を活用して多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色を捉える地理的技能を身に付ける。	○		◎	
		2節 地図の種類とその利用		○		◎	○
		3節 地理情報の地図化		○	○	◎	
		2章 地図の活用と地域調査		○	○	◎	
		第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察					
	5	1章 自然環境 1節 世界の地形	世界の地形について、営力的な視点で分類し、大地形、小地形、その他の地形の分布や成因を考察するとともに、災害と恩恵など人間生活との関わりを考察する。 世界の気候について、気候要素と気候因子の関係から、その成り立ちを考察し、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。		○		◎
		2節 世界の気候		○	○		◎
	6	3節 日本の自然の特徴と人々の生活	日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と、これによる自然災害の特徴を理解するとともに、防災のあり方を考察する。 環境問題について、世界の環境問題の成因や特徴と対策、地域的な分布を大観し、様々な環境問題のうちから地球温暖化、森林破壊、砂漠化について、事例を考察する。日本の環境問題の特徴と対策について考察する。	○	◎		◎
	7	4節 環境問題	産業の発達と変化について、自然環境との関わりやグローバル化の視点から考察する。	○	◎		○
	二 学 期	8	2章 資源と産業 1節 産業の発達と変化	世界の農林水産業について、農業地域区分や、現代世界の農林水産業の現状と課題、及び世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察する。		◎	
9		2節 世界の農林水産業	食料問題について、世界の食料需給の地域的なかたよりを大観し、発展途上国、先進国、日本についての事例を考察する。 世界のエネルギー・鉱産資源について、エネルギー資源の利用と分布、鉱産資源の分布を考察する。		○	○	◎
10		3節 食料問題	資源・エネルギー問題について、現代世界の資源・エネルギー問題を大観し、世界の資源をめぐる問題、エネルギー生産や消費	○	◎		○
11		4節 世界のエネルギー			◎	○	○

期	12	・ 鉱産資源 5節 資源・エネルギー問題	の抱える課題、日本の資源・エネルギー問題を考察する。 世界の工業について、工業の発達や立地、世界の工業地域や、世界の工業の現状と課題、及び日本の工業の課題を考察する。 第3次産業について、現代世界の第3次産業の発展と、世界と日	○	◎		○
三 学 期	1	6節 世界の工業	本の観光業の特色を考察する。		○	○	◎
	2	7節 第3次産業			○	◎	○
	3						
評価の 方 法	定期考査の得点に平常点（課題・授業態度・小テスト等）を加味して100点満点で各学期とも算出する。学年末の成績は各学期の成績をもとに算出する。主に、①、②、③、④の4つの観点から総合的に判断する。						
備 考							